

|  |   |
|--|---|
| <p><b>Mt.kogashi</b></p> <p>NPO法人古賀志を守ろう会<br/>         会報誌第4号 発行人 池田正夫<br/>         発行日 H27年5月3日</p> | <p>事務局 〒320-0811<br/>         宇都宮市大通り 2-4-18<br/>         NPO法人古賀志を守ろう会<br/>         HP npo-mt-kogashi.jimdo.com<br/>         Email npo.mt.kogashi@ gmail.com</p> |
|--|---|

1 簡易トイレの新設（南登山道駐車場）



前年度より市当局に要望していた簡易トイレが新設された。市当局のご高配に感謝申し上げたい。当会員相互の目配りによって、いつも清潔な環境が保たれるよう協力をお願いしたい。

II 地名板設置終わる



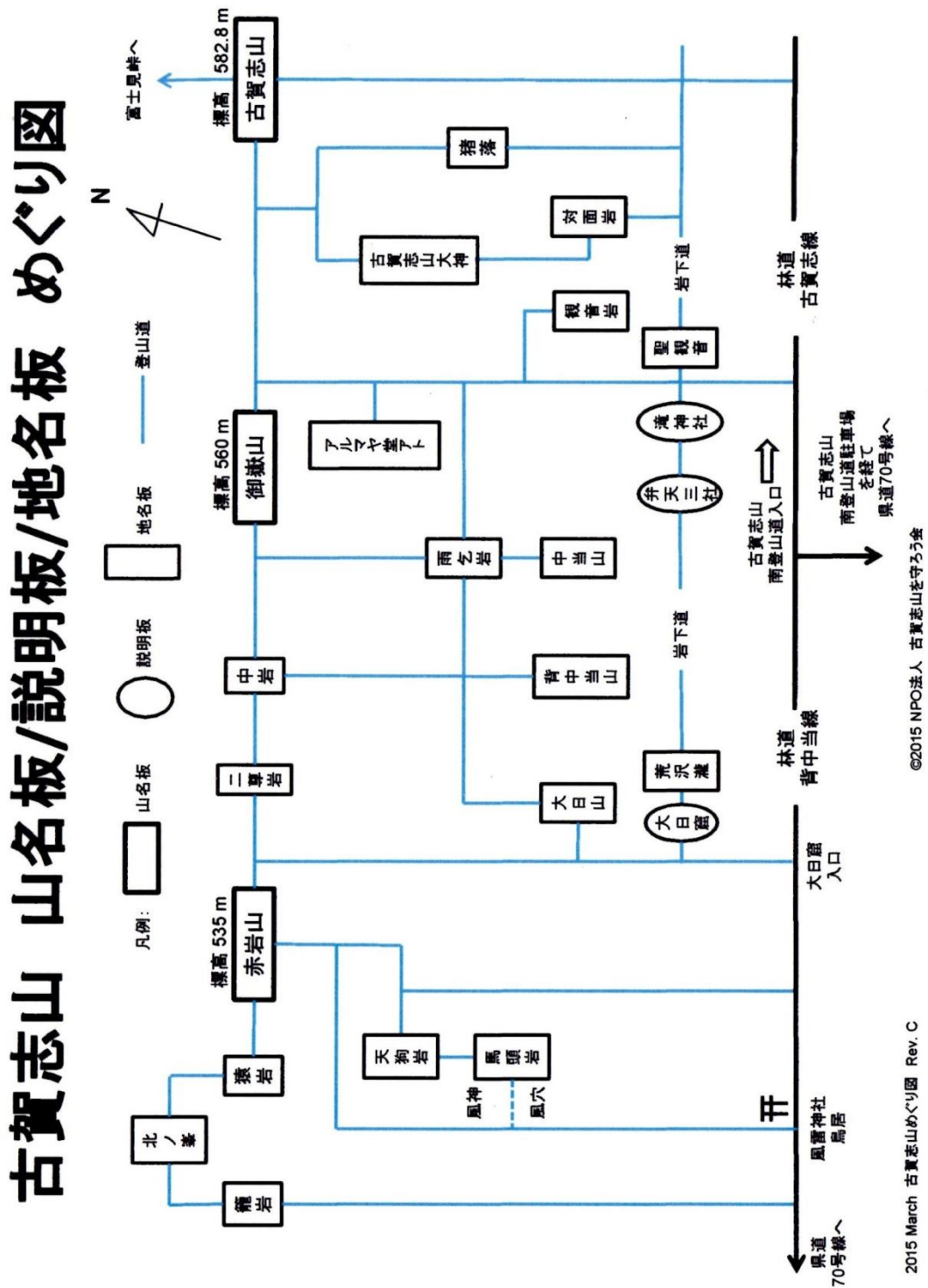
猪落の岩壁はご難続き。地名板が引き抜かれ数日後に登山道で発見された。再度、場所を変えてコンクリートで固定した。また、対面岩ルートに取り付けた補助ロープは、二度に亘って取り外された。単独同一犯の可能性大。

地名板は 18 箇所、以下の地点に設置された。

- ①籠岩②北ノ峯③猿岩④天狗岩⑤馬頭岩⑥二尊岩⑦大日山⑧中岩⑨背中当山
- ⑩雨乞岩⑪中当山⑫アルマヤ堂跡⑬古賀志大神⑭猪落⑮対面岩⑯観音岩
- ⑰聖観音⑱荒沢瀧

Ⅲ古賀志山の山名板・説明板・地名板めぐり図（作成者 加藤哲雄氏）

この「めぐり図」が登山者に普及すれば、古賀志山の魅力が倍増する。



#### IV 定例会

##### 平成27年度 定例会の活動予定

定例会を毎月第4木曜日（雨天順延翌日）と定め、活動する。

- ◇5月28日（木） 雨天順延29日（金）
    - （1）活動 指導標設置場所現地調査
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇6月25日（木） 雨天順延26日（金）
    - （1）活動 指導標（タイプ1）設置
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇7月23日（木） 雨天順延24日（金）
    - （1）活動 指導標（タイプ1）設置
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇8月27日（木） 雨天順延28日（金）
    - （1）活動 指導標（タイプ2）設置
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇9月24日（木） 雨天順延25日（金）
    - （1）活動 指導標（タイプ2）設置
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇10月22日（木） 雨天順延23日（金）
    - （1）活動 山座同定盤御嶽山樹木伐採作業
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇11月26日（木） 雨天順延27日（金）
    - （1）活動 山座同定盤御嶽山設置
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇12月24日（木） 雨天順延25日（金）
    - （1）活動 ID番号付与
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇H28年1月28日（木） 雨天順延29日（金）
    - （1）活動 ID番号付与
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇H28年2月25日（木）雨天順延26日（金）
    - （1）活動 カタクリ群生地保護
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
  - ◇H28年3月24日（木）雨天順延25日（金）
    - （1）活動 旧道整備
    - （2）集合場所 古賀志山南駐車場（集合8：30 解散1時）
- 備考 マップ作製は広報部に委員会を設けて検討し作成する。

## V 「NPO法人古賀志山を守ろう会」入会希望者募集へ

入会案内（振込用紙添付）は、宇都宮森林公園内の宇都宮サイクリングターミナル又は自然休養村管理センターに置いてある用紙を用いる。

## VI 古賀志山の奇岩シリーズ 恐竜岩



籠岩の稜線を西南に下った露岩帯に、恐竜岩と呼ばれる奇岩がある。口の部分と背びれが恐竜に似ていることから付けられた呼称である。

背びれの部分は薄く歩行する人はいない。近くに岩戸岩がある。

## VII 古賀志山ア・ラ・カルト 東鳥屋山の隠れ穴



この岩窟は、古くから「東鳥屋の隠れ穴」と呼ばれていた。場所が東稜岩壁を南に下り、西側に廻り込んだところにあるため、一見見落としがちである。呼称の由来は不詳であるが、発見されにくい場所にあることから生まれたものと推察される。「東鳥屋山」とは、現在の古賀志山頂である。往古の人たちが、この岩窟に神仏を祀らなかったのは、近くに水場がなかったからであろう。古くから狩りなどの際に身を隠す場所や雷雨などの退避場所として使ったと伝えられている。